

メルマガ 「とちぎ通信」 2016年9月号(第17号)

今年には日本に上陸する台風が例年より多いようです。7月以降は毎週のように台風のニュースが流れています。豪雨・強風による被害も各地で発生しました。観測技術の向上で台風情報が事前に詳しく分かるようになり、災害対策がその都度行われているものの、やはり被害は出てしまいます。日本は、常に地震や台風等の自然災害に立ち向かわなければならぬのですね。

■北関東三県ベトナムアンテナショップ オープン

ベトナム(ハノイ市)のイオンモール内に、北関東三県の県産品の展示販売や観光PRを行うアンテナショップを設置しました(来年2月まで)。

7月31日(日)のオープンには三県のご当地キャラクターも登場し、人気を集めていました。本県のいちご菓子、餃子、拉麺、アイス、惣菜、酒類等が販売されていますので、ぜひお立ち寄りください。

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/f04/houdou/vietnam2016.html>



▲イオンモールに設置された北関東三県のアンテナショップ

■夏の甲子園～作新学院が54年ぶりの快挙

第98回全国高等学校野球選手権大会において、本県代表の作新学院は決勝で南北海道代表の北海高校を破り、54年ぶり2度目の優勝を飾りました。また、8月26日には、県主催の優勝報告会及び知事特別表彰(栃木県スポーツ功労賞)の表彰式が県庁で行われ、多くの県民が集まり、選手たちに盛大な拍手が送られました。



▲作新学院の優勝報告会での記念撮影

■アメリカの大学に栃木県出身の学生が留学

インディアナ州にあるライン大学には同州の友好交流県である栃木県から4名の学生が留学し、学生生活を送っています。本学は栃木県出身の学生に対する奨学金制度を設けて支援するとともに、不安とホームシックを少しでも減らすため、アメリカ人の生徒や既に留学している先輩が大学生生活をサポートしています。

以下は、栃木県からの留學生の声です。

「慣れないことが多く、文化の違いに戸惑うこともありますが、今ではそれも学びのひとつであると感じて生活を楽しむことができます」(宇都宮大学・九鬼眞穂子)

「地元から離れることは簡単ではないけれど、こっちは人はみんな本当に優しく、毎日がすごく楽しいです」(白鷗大学・水沼早希)

【文責:ライン大学留學生担当 マリ・マクヘンリー】



▲ライン大学のオリエンテーションに参加する栃木県留學生

コラム リオ・デ・ジャネイロから東京へ

リオ・デ・ジャネイロのオリンピック・パラリンピックが終わりました。日本人選手の活躍がすごかったですね！ 本県出身選手としては、水泳男子の萩野公介選手が400m個人メドレーで金、200m個人メドレーで銀、4×200mリレーで銅の計3個のメダルを、また柔道では、男子の高藤直寿選手(60キログラム級)と海老沼匡選手(66キログラム級)がともに銅を取りました。競技が行われたのは日本では真夜中になることが多く、寝不足の日が続きました…。

閉会式のセレモニーで、安倍首相がスーパーマリオの格好で土管から現れたのには、皆さんビックリしたのではないのでしょうか。次は東京です！